

JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2020

ジャパンアウトドアリーダーズアワード 2020

アウトドアには
人を育むチカラがある。
だから私は
みんなを連れ出す。



実施概要

名称 JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2020 / ジャパンアウトドアリーダーズアワード 2020
主催 JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD運営委員会
後援 農林水産省、文部科学省、国土交通省、環境省、独立行政法人国立青少年教育振興機構、
一般社団法人日本環境教育学会、一般財団法人全国山の日協議会、日本野外教育学会

協賛



サポーター ARC'TERYX、好日山荘、益田工房、mont-bell、バタゴニア日本支社、SALOMON、SATOMACHI、秀岳荘、UTSUNINC
応募期間 2019年9月23日(月)～11月23日(土)
表彰式 2020年3月19日(木) | 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 国際会議室
スペシャル
アドバイザー 上遠恵子(エッセイスト/レイチェル・カーソン日本協会 会長)、国井雅比古(NPO法人日本トレッキング協会 会長/元NHKアナウンサー)、速水亨(速水林業 代表)、三浦雄一郎(プロスキーヤー/冒険家/クラーク記念国際高等学校 校長)
選考委員長 星野敏男(明治大学経営学部 教授/日本野外教育学会 理事長)
選考委員 佐藤初雄(NPO法人自然体験活動推進協議会 代表理事)、曾根原久司(NPO法人えがおつながり 代表理事)、高野孝子(NPO法人エコプラス 代表理事/早稲田大学 教授/立教大学 客員教授)、竹内洋岳(プロ登山家/立正大学 客員教授/Mt.石井スポーツ)
運営委員長 山田俊行(トヨタ白川郷自然学校 校長)
運営委員 加納麻紀子(NPO法人くまの木の暮らし 事務局)、佐藤繁一(NPO法人国際自然大学校 事務局)、砂山真一(一般財団法人ポジティブアースネイチャースクール 代表理事)、高瀬宏樹(国立曽爾青少年自然の家 企画指導専門職兼事業推進係長)、中澤朋代(松本大学総合経営学部 准教授/NPO法人日本エコソリズムセンター 共同代表理事)、野口和行(慶應義塾大学 准教授)、原田順一(NPO法人湘南自然学校 リスクマネージャー/SAN~Social Active Network of outdoor education~ 副会長)、増田直広(公益財団法人キープ協会 環境教育事業部 主席研究員)、山路歩(NPO法人体験学習研究会 代表理事/日能研 調査開発室 キャンプ担当)、山田亮(北海道教育大学岩見沢校 アウトドア・ライフコース 准教授)

募集期間 2019. 9.23 [月] ▶ 11.23 [土]

表彰式

2020.3.19 [木]

開催場所

国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟 国際会議室



アウトドアで人づくりしている方を表彰します。
jola-award.jp

お問い合わせ先

ジャパンアウトドアリーダーズアワード運営委員会 事務局
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 自然体験活動推進協議会内
E-Mail: jola@cone.jp Tel: 03-6407-8240 URL: http://jola-award.jp



アウトドアで 「未来の日本のための人づくり」

アウトドアは、判断力があり強くしなやかで心豊かな子どもを育むと私たちは信じています。そしてこの人づくりには質の高いアウトドア活動とそれを支えるリーダーの存在が不可欠です。アウトドアリーダーの知識・技術・人間性を取り上げ社会にアピールすることで、リーダーがさらに育ち、そして互いにつながるきっかけになればと考えています。それにより、日本にアウトドア活動が根付く取り組みの一助となり、誰もが質の高い活動を楽しめる環境を日本に広げていきたいと考えています。
「未来の日本のために私たちができることを」
この想いを胸に JOLA は歩き続けます。

※JOLA が表現するアウトドアは、山・川・海・森だけでなく、里山・里海・田畑や公園など、私たちの生活のそばにある自然も含みます。日常というドアを開けて外に飛び出し、身体全体を使って様々な体験をするフィールドのことです。

MESSAGE



SPECIAL ADVISOR

スペシャルアドバイザー

上遠 恵子

エッセイスト
レイチェル・カーソン日本協会 会長

朝起きて、今日はどんな出会いがあるかなと、小さな庭を歩く。昨日はカナヘビの子どもに会った。歳を重ねた今も自然に触れるという終わりのない喜びは新鮮です。子ども時代に自然への感性を育む大切さを心から思います。



SPECIAL ADVISOR

スペシャルアドバイザー

速水 亨

速水林業 代表

自然は豊かな時と心を与えてくれるが、時に気を抜けば牙をむく。故に優れた指導者が求められる。JOLAの活動が全国のリーダーの発掘に寄与することを確信します。



SPECIAL ADVISOR

スペシャルアドバイザー

国井 雅比古

NPO法人日本トレッキング協会 会長
元NHKアナウンサー

自然に触れ、自然を楽しむ ことは勿論、環境の保護・育成、地域の活性化、将来の起業やビジネスの場……。こうした一種の混沌の中からこれからの「自然と私たちの向き合い方」が見えてくるのではないかな？



SPECIAL ADVISOR

スペシャルアドバイザー

三浦 雄一郎

プロスキーヤー
冒険家
クラーク記念国際高等学校 校長

これからの地球には心と身体で＜大自然＞を体験し理解し、そして感謝できる子どもたちを多く育てることが必要です。JOLAは夢と希望を育む力、自然との共生を子どもたちに伝えてくれるリーダーたちの活躍を大いに応援していきます。



NOMINATION COMMITTEE

選考委員

星野 敏男

明治大学経営学部 教授
日本野外教育学会 理事長

変化が激しい現在、各地の現場で地域とそこに暮らす人々と直に関わりつつ、未来の日本を動かす子どもたちに体験を提供し人づくりに励む人たちの存在が、とても大きな意味を持っています。JOLAは、彼らを世に広く紹介する素晴らしい活動だと大いに期待しています。



NOMINATION COMMITTEE

選考委員

佐藤 初雄

NPO法人自然体験活動推進協議会 代表理事

今やアウトドアという言葉も多くの人々にとって身近なものとなりましたが、アウトドアの指導者となるとほとんどの人が知らないと感じるでしょう。もっと多くの人たちに指導者の素晴らしい姿を知っていただくために、是非ご応募ください。



NOMINATION COMMITTEE

選考委員

曾根原 久司

NPO法人 えがおつなげて 代表理事

私は、日本の田舎の資源は宝だと思っています。世界で有数の森林率を誇る森林。40万haの耕作放棄地。四季折々の美しい農村の自然景観等々。ただ、これらの資源が有効に活用されていません。この宝を有効に活用するような活動を応援します。



NOMINATION COMMITTEE

選考委員

高野 孝子

NPO法人エコプラス 代表理事
早稲田大学 教授／立教大学 客員教授

社会が急激に変化を続ける今だからこそ、自然と深く関わりながら、学び、考える質の高い体験が必要です。そうした活動に取り組むみなさん、手をあげてください！JOLAが応援します。



NOMINATION COMMITTEE

選考委員

竹内 洋岳

プロ登山家
立正大学 客員教授／Mt.石井スポーツ

「プロ登山家」ってなんですか？とよく聞かれます。その度に、「プロ」とは登山家と名乗り続け、登山を続けていく「覚悟」なのですと、相手に語ります。さあ！プロ野外教育指導者として、名乗りをあげるチャンスです！プロ野外教育指導者の存在人々にを示し、自らに「覚悟」を与えてください。

JOLA 2019 FINALIST



萩原・ナバ・裕作

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授／
野外自主保育「森のだんごむし」言い出しっぺ



浦田 愛

NPO法人ほしはら山のがっこう 副理事長・事務局長



宮村 連理

NPO法人緑のダム北相模 副理事長／
東京学芸大学附属小金井中学校 教諭



片山 誠

一般社団法人72時間サバイバル教育協会 代表理事／
株式会社ココロ 代表取締役



神保 清司

NPO法人千葉自然学校 受託事業部長 兼
南房総市大房岬自然の家 所長／
NPO法人海に学ぶ体験活動協議会(CNAC)副代表理事



中根 佳江

公益社団法人日本ガールスカウト日本連盟
ガールスカウトトレイナー／大阪総合保育大学 非常勤講師



原田 順一

NPO法人湘南自然学校 リスクマネジャー／
SAN ～Social Active Network of outdoor education～ 副会長



松場 省吾

NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会
やまたみ 理事／
やまたみキッズ登山クラブリーダー



徳田 真彦

大阪体育大学体育学部 講師／
Wilderness Education Associaton Japan
代表理事

JOLA 2018 FINALIST

【大 賞】小倉宏樹(よみたん自然学校 代表)

【特別賞】浅井智子(一般社団法人MORIWARA 代表理事/自然育児 森のわらべ多治見園 園長/母と子の幸せ応援団～ひなたぼっこ～ 代表)・大津愛梨(O2Farm 共同代表/NPO法人田舎のヒロインズ 理事長)

【優秀賞】小林政文(ホールアース自然学校沖縄校がじゅまる自然学校 代表)・中田無双(北都留森林組合 参事/森林インストラクター/NPO法人多摩源流こすげ 副代表理事)・堀 直也(エコサファー 代表/ビーチマナー 事務局長)・三森典彰(株式会社BiotopGuild 代表取締役/Forestthree 代表/東京環境工科専門学校 非常勤講師)・吉元美穂(NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ 事務局長)

ひとつの大きなうねりに

いよいよJOLAのエントリーが始まりました。昨年度受賞させていただいて気づいたのですが、これは単なる表彰ではないようです！?野外で人づくりをする私たちが一丸となって社会的活動基盤を固めていくための重要な活動だと感じました。ですからこれを読んでいるあなたにとって他人様ではないはず。今こそ、自選他薦含め、各地で活躍するリーダーを発掘し合い、たたえ合い、つながり合い、そしてひとつの大きなうねりに変えて、私たちが信じ貫いてきた活動の意義を、広く社会にアピールしていこうではありませんか。

JOLA2019大賞 萩原・ナバ・裕作氏



RUBRIC



JOLAでは、能力評価に使用される「ルーブリック評価」を採用し、審査を進めています。4つの評価基準を決め、さらに細分化し、評価項目を作成し、評価項目を熟達度で分け評価表を作成しています。(以下、JOLAルーブリック)

このJOLAルーブリックをもとに、応募者の審査シートを複数の委員で評価し、書類選考を進めます。JOLAルーブリックによって情報が共有されて、応募者へのフィードバックも行えるので、応募者の今後のスキルアップにつながります。将来的にアウトドアでの人づくりの統一基準になるよう進化させていきます。

Four Evaluation Items 4つの評価項目

01 未来につながる人づくり

- 直接体験&体験からの学び
- アウトドアフィールドの活用
- 継続性

02 人づくりの独自性

- 考え方・哲学
- キャラクター
- 実践方法

03 社会性

- コラボレーション
- 発信
- 社会への貢献

04 人づくりの技

- ハードスキル
- ソフトスキル
- 資料(道具)のオリジナリティ&場や資源の演出

Three Features 3つの特徴

01 アウトドアでの人づくりの評価基準

幅広いアウトドアでの人づくりを評価する基準です。

02 自身の能力を可視化

主観になりがちな「アウトドアでの人づくりの評価」が、JOLAルーブリックによる採点で客観的に可視化・共有化されます。

03 応募者のふり返しにも活用

希望者には評価のフィードバックを行っており、各自のふり返しにも活用してもらえます。

GUIDELINE

あなたのエントリーが日本のアウトドアを盛り上げます。自薦他薦は問いません。

応募資格

「アウトドアで過ごすことは価値がある」、そう考えて人々を誘い、海へ山へ川へ森へ田畑へ連れ出している人は、誰でも応募できます。ぜひエントリーしてください。

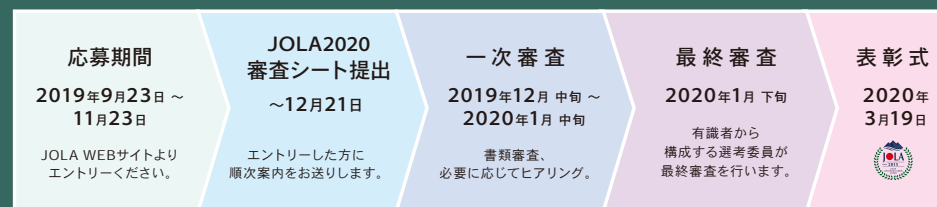
応募方法

JOLA WEBサイトをご確認の上、ご応募ください。

<http://www.jola-award.jp/>



スケジュール



審査

一次審査を通過し、最終審査を経てファイナリストが選出されます。さらに、ファイナリストの中から大賞・特別賞・優秀賞・U30賞が選出されます。特別賞は、ある分野で突出した活動、ユニークで面白い活動、将来性を強く感じる活動などで評価された方が対象です。またU30賞は、30歳以下の方を対象にしたものです。

受賞特典



ファイナリスト全員

- 1 JOLA2020エンブレム入り
ゴアテックススレインジャケット



- 2 協賛各社様より
アウトドアグッズなど進呈予定

様々な応援

PR

オフィシャルサイト内での
活動紹介など

つながり

審査員、その他応募者、協賛社、メディア関係者などとの
ネットワーク構築の場を提供